

協働パイロット事業 (H23) 企画提案書

団体名： 特定非営利活動法人 AYUドリーム

1. 事業の名称

清水区次世代につなぐ環境実践教育事業

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

地球温暖化、CO₂排出量の抑制等々環境問題は、地球単位で取り組むべき課題でもあります。しかし、現実には国の事情も異なり、その取り組みの難しさも浮き彫りにしています。ただ、世界での共通認識は、次代を担う子ども達に良い地球環境を残していくことにあります。

当AYUドリームでは、子ども達と共に、自然との共存を目指し、そのために何ができるのかを一緒に考える機会として、「清水区次世代につなぐ環境実践教育事業」を提案するものであります。

清水区は、海、山、川が混在し豊かな自然に恵まれており、その自然を題材に“共存を目指し”、静岡市担当課をはじめ専門家・関係者の協力をいただき、子どもに分かりやすい生きた環境実践教育事業に取り組むたいと提案するものです。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

(1) 提案団体が果たす役割

AYUドリームはこれまで、地域活性化や子育て支援事業に取り組んでまいりました。本事業での役割は、地元興津地区連合自治会の協賛をはじめ、豊富なサポートスタッフの活用、清水区全域を実践教育の場に据え、取り組みが出来ることにあります。

(2) 行政に望むこと

① 静岡市清流の都創造課の環境指導員派遣制度を活用

子ども達は、環境について学校やテレビを通じての知識しかありません。そこで、環境指導員の派遣をお願いし、環境基礎知識や現状について知識を深める基礎講座を開催したい。

② 清水区全域から参加者の公募

広報しずおか等を活用し、事業参加者の公募を広報紙掲載などの協力をお願いしたい。

③ 環境実践教育の専門家のご紹介

静岡市内の専門家による環境現場教育を開催したいので、専門大学の紹介をお願いしたい。

④ 研究発表会の開催 (清水区ふれあいホール借用)

勉強の成果を発表できる場として、子ども達による「研究発表会」を清流の都創造課職員さんの前で開催し職員の方々の講評もいただきたい。

4. 成果目標 (できる限り具体的に表現してください)

子ども達が、テレビや学校での知識しかない現状を踏まえ、協働パイロット事業を活用することで、専門家の支援が得られ“現場を踏まえた生きた環境実践教育”を体験することができるという大きな成果が期待できます。特に、参加子ども達による「研究発表会」を担当課職員の前で開催することで、一年間の大きな発表する大きな目標が子ども達の励みにもなります。又、子どもたちが、日常生活の中で活かしていくことができるよう、継続的にフォローアップ研修を継続的にしてまいります。

5. 事業計画

1. 本事業対象者

子ども達と、保護者 20 組を対象に参加を集い実施していきます。

2. 地域協賛団体

興津地区連合自治会、

3. 事業支援（アドバイス）団体

静岡市清流の都創造課を中心に、専門家のノウハウを活用した現場実践教育とします。

4. 事業内容

①「川の環境実践教育」の場として、興津川を設定していきます。（10月）

・川の水質保全を中心に、川の生物（鮎他）について現地で生物の棲める環境について勉強します。

②「海の環境実践教育」の場として、清水港、三保半島（真崎中心に）を設定します。（11月）

・清水港の水質や、三保半島の海岸を散策し浜の環境、打ち上がられた生物の解剖、海蛸など、人間生活が及ぼす生物への影響、海の神秘、海の持つ魅力、海の活用などを勉強していきます。

③研究発表（清水区ふれあいホール借用）

・できれば、清流の都創造課職員さんの前で一年間の「研究発表会」を開催したいです。

④展示

・静岡葵序舎本館 1階市民ギャラリーか、清水区 1階ロビーでの研究展示会を開始したいです。

※参加者は写真撮影。ゴミ拾い等で個々に研究材料を収集します

6. スケジュール

本事業具体実施に向けた関係者への交渉と協議及び事業案の確定

9月：事業の展開（川の環境実践教育・海の環境実践教育）の支度及び準備（事前講習）

実施場所：静岡市興津生涯学習交流館

10月：実践教育プログラムの実施

実施場所：興津川流域（講師決定後確定）

11月：実践教育プログラムの実施（真崎海岸他）

実施場所：三保半島他海岸（講師決定後確定）

12月～2月：報告書（研究成果）の作成（3回程度）

実施場所：静岡市興津生涯学習交流館

3月：実践教育を踏まえた子ども達の研究発表 研究成果関係者への配付・展示

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

統括リーダー 雨宮 令子 (理事長)
企 画 NPO法人AYUドリーム理事 14名 協力団体代表者
会 計 小澤 眞弓
実行メンバー NPO法人AYUドリーム会員 ボランティア 30名 中学生ボランティア
協賛団体 興津地区連合自治会

スタッフn環境の専門職はおりませんが、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、児童クラブ指導者、少年教室指導者他子どもに関わる仕事に携わっている者が多くおります。過去に子ども達と間伐材、山の自然と環境を勉強しました。

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

1. 専門性

今回の事業は、清流の都創造課職員さんをはじめ、専門家のご支援をいただき取り組んでまいります。

2. 独自性

興津川、清水区三保海岸など、単なる知識の勉強にとどまらず、現場実践教育と一年間の研究発表会を開催するなど、参加する子ども達に成果目標を持たせ、努力させ育てていくことが独自性と考えています。

3. 先駆性

民間だけでは、絶対に取り組めない事業であり、子ども達と官・民・学の協働事業という点では先駆性が高いと考えています。

4. AYUの活動は、“地域活性化と子育てを地域で”

AYUの活動の基本的姿勢は、次代を担う子育てに“つなぐ”です。NPO法人としての活動は、県事業、静岡市からの受託事業、財団法人補助事業など、十分な実績を踏まえての申請であります。

現在、興津小学校、中学校で子どもの居場所・環境等を考え学校内に農園（野菜・グリーンカーテン）を作り子ども達と一緒に作業しています。

協働パイロット事業 (H23) 見積書

団体名: 特定非営利活動法人AYUドリーム

企画のタイトル: 興津地区次世代につなぐ環境実践教育事業

項目	金額	説明
講師謝金	120,000	興津川の自然講座 (交通費・教材・助手1名含) 50,000円×1
		三保半島の自然講座 (交通費・教材・助手1名含) 50,000円×1
		環境講座 10,000円×2
会場使用料	5,000	興津生涯学習交流館他
印刷製本費	10,000	チラシ1000枚・カラーコピー (A3ポスター) 50枚 写真現像
通信費	5,000	
燃料費	5,000	運搬用トラックガソリン代 (講座準備品・テント運搬)
消耗品費	14,000	使い捨てカメラ・インク・マジック・用紙類
事務管理費	38,000	
食費	40,000	講座当日講師含むスタッフ昼食代 (3日分) 50食
小計 A	237,000	
消費税 B = A × 0.05	11,850	
合計 A + B	248,850	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途

企画提案の概要書

提案団体名	特定非営利活動法人AYUドリーム
企画案のタイトル	興津地区次世代につなぐ環境実践教育事業
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>地球温暖化、CO2排出量の抑制、もったいない運動等々環境問題は、地球単位で取り組むべき課題です。今私達が出来る事は、子ども達に自然の持つ恵み、神秘、脅威、人間社会が環境に与える影響など、次代を担う子ども達と共に考え、出来ることから生活の中で実践していくことが重要です。子ども達は、環境についてテレビ、学校、ゴミの分別収集、今回の原子力問題など一部の情報しか入っていません。</p> <p>そこで、本事業は、環境基礎講座からスタートし、環境指導員さん、専門家による「環境現場実践教育」と銘打ち、川・浜辺・海など実際に自然に触れあいながら、子ども達に伝わりやすい課外教育を中心に開催し、成果として「子ども環境報告書作成」と「子ども達による研究発表会」を開催することで、参加する子ども達に成果目標を意識させながら実践教育を行ってまいります。</p>
金額	¥248,850

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。